

北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 15 号 (通巻 No.204)

2005 年 9 月 2 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道南 - 秋田沖日本海スルメイカ調査結果

中央水試調査船おやしお丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間 : 2005 年 8 月 23 日 ~ 9 月 1 日
- ・調査船 : おやしお丸 (イカ釣機 6 台、イカ用集魚灯 22 灯装備)

今回の調査は、今年からの調査のため前年との比較はしませんでした。

CPUE 2 ~ 7 , 外套長のモードは 19 ~ 20cm

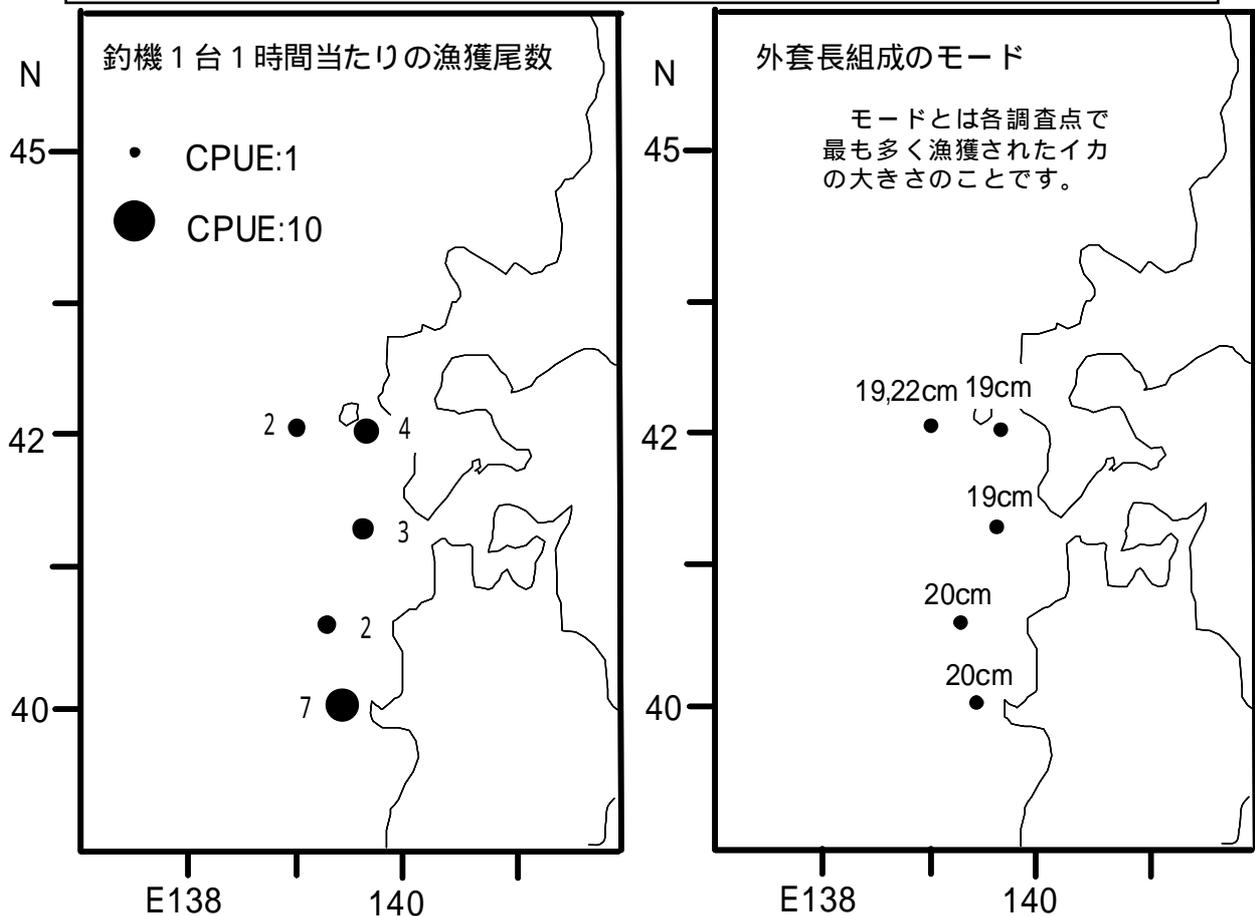


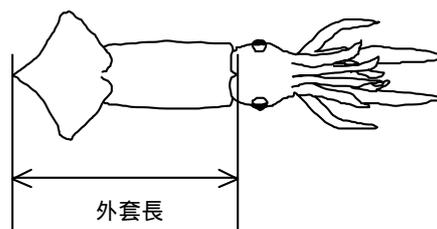
図1 スルメイカの分布密度と外套長組成のモード

スルメイカの分布密度

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 2 ~ 7 でした (図 1)。男鹿半島沖の調査点が, 7 と最も高くなっていました。

スルメイカの大きさ

スルメイカの大きさは、外套長（胴長）組成のモードで見ると、桧山沖と松前沖で 19cm、深浦沖と男鹿半島沖で 20cm であった。奥尻島西部では、19cm と 22cm にモードがあった。調査海域全体では、20cm にモードがあった（図 2）。



漁獲したスルメイカの内、成熟した個体は、雌雄共に 1 ~ 2 割程度でした。

水温分布

調査海域の表面水温は、23 ~ 26 でした。50m 深水温は、7 ~ 20 でした。奥尻島西部が表面水温 23 、50m 深 7 と最も低く、青森県深浦沖が表面水温 26 、50m 深 20 と最も高くなっていました。

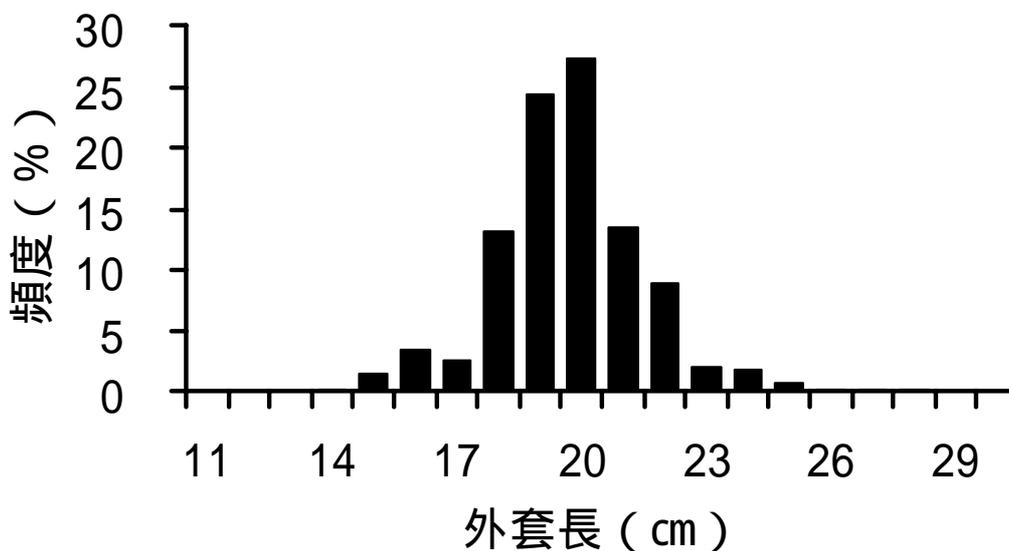


図 2 スルメイカ外套長組成図

(文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709)